

# ターゲットバードゴルフ



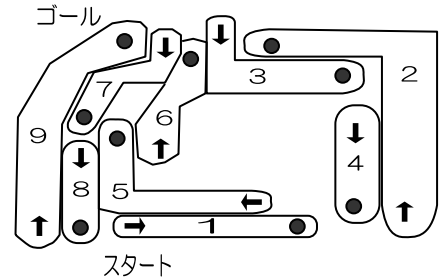
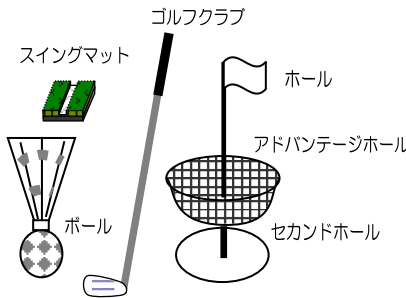
場所	人数	対象年齢	運動強度
屋外	1人～多数	中学生以上	中度

コース設定図 (例)

## 用具

- <クラブ> P. PWまたは10番
- <ボール> 全長105mm  
ボールの直径約40mm  
羽根の直径約65mm  
重量30g以下

## 特色



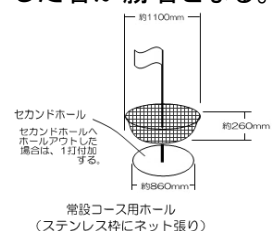
バドミントンのシャトルとゴルフボールを合体させたようなプラスチック樹脂製の制動翼付きゴルフボールを、ゴルフのピッチングウエッジをつかってフルスイングで打つことができ、ゴルフ気分を味わうことができる。ルールが簡単で、初心者でもすぐできる。チーム対抗はもとより、1人でもプレーを楽しめる。

## コース

コースのホール数は9ホール以上とし、ショート(パー2)・ミドル(パー3)・ロング(パー4)の長短のコースがあり、ハーフのパーは27または36とし、ショート2、ミドル5、ロング2のコースとする。

## 競技方法

- スタートのティーショット(第1打目)は、ジャンケン等で順番を決める。この時、ショットマットを使用する。(ショットマットは持って移動し、これを使いストロークする。ただし、バンカー内は使用できない。)
- ボールを打つ意思でクラブを振れば、空振りでも1ストロークと数える。1ストローク中に、2回以上ボールに当たった時は、2打として数える。
- インプレーの時、ホールから最も遠いボールを先にプレイする(遠球先打)。
- 2ホール目以降のティーショットの順番は、前のホールで最も少ないスコアのプレイヤーからプレイし、以下順番にプレイする。前のホールでスコアが2人以上同じであった場合は、前のホールのティショットの順番でプレイする。もしプレイヤーが順番を間違えてプレイしても罰はなく、ボールが止まっているところから次のプレイをする。
- ボールの球状部分がホールの内側に停止した時ホールインという。アドバンテージホールにホールインの場合は[ショット数]、セカンドホールの場合は[ショット数+1打]で計算する。
- アウト・オブ・バウンズ
  - ボールの球状部分がOBの境界線に少しでもかかっていたらセーフ。
  - ボールがOBとなった場合は、1打付加して、そのボールを最後にプレイした地点にできるだけ近い境界線内から、次のストロークを行う。
- 勝敗の決め方
  - マッチプレーは、ホールごとにストローク数によって勝敗を決める。
  - ストロークプレーは、正規のラウンドを正しい順序でプレイし、最小打数でプレイした者が勝者となる。



# TBG スコアカード

令和 年 月 日 氏名( )

ホール	距離	1	2	3	4	5	備考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
						合計	

ホール	距離	1	2	3	4	5	備考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
						合計	
						総計	